

高校生が考える現代リーダー論 —これからの時代が求める真のリーダーとは—

【趣旨説明】

ここ数年で世界各国のトップリーダーが交代し、国際関係にも影響を与えている。誰が国の最高責任者となるかは各国の政治体制によって異なるが、一国の未来を左右するほどの重責を果たすリーダーには高い資質と能力が求められる。

他方、トップリーダーひとりの力で国家を運営できるわけではなく、トップリーダーを支える中核的な組織と、あらゆる分野の専門組織が必要で、それぞれの組織にもリーダーが必要である。また、各組織には下部組織や関連組織、地方組織などがあり、それぞれにリーダーの存在がある。現代社会はそのような重層的組織構造の上に成り立っているのである。当然のことながら社会を構成するのはそのような政治や行政の組織ばかりではなく、民間企業や学校など多くの大小組織があり、家庭もその最小単位の組織と言える。

歴史を紐解けば、古今東西数多くのリーダーが時代を動かしてきた。真のリーダーについて論ずるためには歴史に学ぶ姿勢が大事である。それと同時に、現代社会の現状と課題を踏まえ、未来を展望してリーダー論を展開する態度も大切である。

そのような観点に立って、21世紀をリードする人材として社会貢献を志す高校生諸君に、これからの時代が求める真のリーダーの在り方とその望ましい環境について、明確に提言してほしい。